

3月の予定		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	〈クーベルチップ〉 ブックマルシェ 16:30~18:30
9	水	
10	木	
11	金	個人教材配布
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	ヘモグロビン検査③
17	木	久保先生わらべうた
18	金	お別れ遠足
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	ヘモグロビン検査③ 予備日
23	水	
24	木	お別れ会
25	金	卒園式 布団取り換え
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

くらき永田保育園便り



先月は休園のご協力いただいたこともあり感染の拡大は最小限にとどまっています。手洗い、体調の観察、消毒といった基本的な行動を徹底しながら子どもたちの日常を守っていきたく思います。そのなかでも陽性者は今後しばらくの間は出てくるとは想定されますが、横浜市とも相談しながらルールに則って運営していきます。

さて、分散での開催となりましたが、小さな表現者展を実施できたことに大変感謝しております。子どもの表現活動を通して保護者の皆さんと「子どもたちの育ちや生活」についてお話しする時間は職員にとっても大切な時間となりました。アンケートに書かれた一つ一つの言葉もコロナ禍で働く保育士に勇気を与え、仕事へのエネルギーに繋がった気がします。

早いもので令和3年度最後の月となり、卒園式の歌が保育園に響き渡る季節になってきました。年度末の慌ただしい季節ですが、ひとりひとりの「育ち」を確認しながら一年を締めくくりたいと思います。

4月から安定した保育生活を送るために！

4月というのは、子どもにとって「担任が替わり」「担任数が減り」更に「保育室が変わる」という3重の環境の変化が起こる季節です。くらき永田保育園では、新年度の子どもたちの負担感を軽減するため、例年通り、3月中に現担任と一緒に次年度の保育室への移行を行います。

- 移行日時 : 3月11日(金) 10日までは現保育室です。
- 荷物等 : 登園用の下駄箱位置は変わりません
- いきいき : 小学校での生活を見据え、単独でほかほかで生活します。

次年度に向けてのお知らせ

- ① 4月からの進級にあわせて ご家庭で用意していただく個人教材等の販売を行います。今年も備品の引き渡しで混乱が起こらないよう、事前に支払い方式とし、3月11日に教材をお渡しします。つきましては、申込用紙に必要備品を記入し、3月8日(火)までに事務所に現金をお持ちください。
- ② 3月31日(木)は、次年度準備のため、保育時間が18:30までとなります。年度末のお忙しい時期ですが、4月以降、子どもたちの保育園生活がスムーズに行えるように準備を行います。なお、担任の発表は4月1日に玄関ホールに掲示します。
- ③ 保育園で推奨している「こどものとも」の月間絵本令和4年度分の申込みを開始します。申込み用封筒を配布しますので、ご検討ください。毎月届く特別な贈り物を上手に活用してください。(3月15日までに申し込まれた家庭には4月1日から購読が開始できます)
- ④ 来年度から事務の効率化を図るため集金代行サービスを活用することとなりました。また、保護者との連絡に関してもスマホを使った電子連絡帳に変更していく予定です。

木育係より

今年度の木育では、植物マップを新しく作成しました。子どもたちは、マップの写真と実際の植物を比べたり「これは?」「あ!りんごだ」と今の時期にはない草花もについてマップを見て、興味を示したりしていました。また、園庭にポタジェガーデンも作りました。日当たりや、草花同士の相性、子どもたちが見えやすい位置など植える場所を工夫しています。今後も試行錯誤しながら、子どもたちが身近な自然とより楽しく関われるような仕掛け作りをしていきます!

食育係より

年明けから玄関の所に食育係からの掲示を始めました。食育係の保育士が、食について疑問に思ったり、なるほど!と思うことなど、子どもにまつわる食の情報などをぜひ保護者の皆さんと共有したいという思いから掲示しました。ぜひご覧いただき感想をお寄せください。
今月は飲料水に入っている角砂糖の量についてです。意外と知らなかったことが多くビックリしました。「子どもにとっての食事とは?」のテーマで様々な情報を今後も発信していきたいと思っております!ぜひ、ご家庭からの情報もお待ちしています。

遊言育係より

くらき永田保育園のモットー『すべての発達遊びを通して』の充実を目指して、今年度は、職員の研修を多く取り入れてきました。玩具研修では、玩具は〈緊張・言葉・年齢〉の壁を取り除いてくれる人と人を繋ぐツールであると学び、異年齢クラスの定番ゲームの体験研修を職員会議でも行いました。更に、湘北短大の学生さんに子どもの姿と育ちを伝えておもちゃ作りを依頼したことで新たな手作り玩具が仲間入りしました。また、絵本やわらべうた研修では、愛着形成のツールというのが第一で、そこから様々な力に結びついていくことを学びました。今後はこれらの学びを保護者の皆様にも発信できるような企画を考え、親子でのおうち時間が更に豊かになるような活動を続けていきたいと思っております。

各クラスの一年の振り返りをお伝えします！

にこにこ

入園してから早いことにもう一年が経ちます。子どもたちにとって、初めての集団生活は毎日がとても刺激的だったと思います。入園当初は泣いてばかりだった子どもたちでしたが今では笑顔で元気に自ら入室してくれるようになりました。子どもたちの心も体も大きく育ち、探索しながら世界を広げている姿は頼もしいです。友だちの事が気になり同じことをやろうとしたり、持っている玩具を「どうぞー」と渡したりと少しずつ子ども同士の関わりも見られるようになってきました。一人ひとりの成長を保護者の皆様と見守ることができ、色々な気持ちを共有できたこととても嬉しく思っています。一年間ありがとうございました！

よちよち

よちよち組になって1年！あつという間でした。4月は指を差して伝えたり、泣いて伝えたりする事が多かった子どもたち。今ではお話がとっても上手になったり、洋服の着脱がスムーズになったり。色々と自分で出来るが増えて自信に繋がって意欲的な姿が見られます。時には甘えて「できない」と言ってみたりしますが気持ちを受け止めながら関わっています。自我と甘えと主張したい気持ちと『いやいや！』となる事もあります。それも成長の過程として一緒にご家庭と見守れたらと思います。今年度も保育へのご理解ご協力本当にありがとうございました。

すくすく

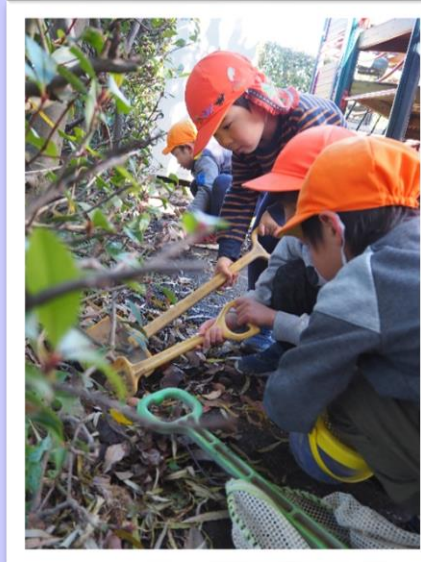
すくすく組で過ごすのも残り一ヶ月となりました。初めは個々で遊ぶ事が多かった子どもたちですが、今ではキッチンコーナーで、役になりきってお友だちと一緒に遊ぶ姿も見られるようになりました。

園庭では楽しみにしていた大型遊具でも遊ぶようになりました。中々登れない時もあきらめずに挑戦を繰り返して、体の使い方を知らず知らずのうちに「出来た」思いも積み重ねてきました。また、初めての課題活動では、クレヨン、油粘土、のり、はさみ、絵の具に触れて自由に表現活動を行ったことなど、子どもたちにとっての“初めて”もたくさん経験しました。のびのび組ではどんな成長を見せてくれるのかとても楽しみです！保護者の皆様には、いつも温かく見守っていただき感謝しています。一年間ありがとうございました。

異年齢

コロナ禍の一年でしたが子どもを中心においての保育を考え、共に成長をしてきました。設定遊びでは、絵本の世界観に入り込んで皆で再現遊びを楽しむことができました。製作コーナーで自分のやりたいことをやりたい時に選んで表現を楽しむことができました。クラスとしては、のびのび組は、異年齢に憧れを持ってのスタートでした。始めは緊張した様子で見ている姿がありましたが、行事ごとに自信をつけて成長しました。今では異年齢の輪の中に入り積極的に楽しんでいます。先日のコマ大会では入賞こそ出来ませんでしたが、のびのび組の意欲はスゴイものがありました。わくわく組は、「たくさん外で遊びたい！」「何かを作りたい！」など、個々に作り出す事、表現することを楽しんだ年でした。何色もの絵具から作り出される色、ダンボールや紙、ホチキスなど沢山の道具に触れて楽しむことができました。決められたテーマではなく自分で作りたい物や自由な表現から興味関心が生まれ友達同士の関わりも広がってきました。今、「4月からは僕たち私たちが、いきいき組なんだ！」と憧れのヒーローのイメージが膨らんでいることでしょうか。いきいき組は、テーマ『忍者』で盛り上がった一年でした。小さな行事はもちろんですが運動会も、発表会、先日の小さな表現者展の時でも子どもたちが参画し、素晴らしいモノや姿を見せてくれました。異年齢全体が忍者の世界に引き込まれ、楽しみました。いきいき組と過ごせるのもあとわずかになってしまいましたが、沢山の思い出を残し、楽しみたいと思います。


異年齢のそんなこんなも保護者の皆様のご理解、ご協力があってこそだと感謝しています。本当にありがとうございました。




給食室から

小さな表現者展で行なった「食あるある解決アイデア募集」へのアンケートのご協力ありがとうございました。アンケート回答の中から、皆さんからの声が多かった回答をご紹介します。

① 夕飯までの間におなかすく多かった回答は、小さなおにぎり・果物・野菜・チーズ・ゼリー・小分けのお菓子を食べる等がありました。

 夕飯までの間食は、できるだけ糖分・塩分を含んだものを避け、おにぎり・果物・乳製品などビタミンやカルシウムの入ったものが良いです。

② 白いご飯がすすまない多かった回答は、納豆やふりかけをかける・おにぎりにする・おかずや汁物と食べるような声掛けをする等がありました。

 無理にご飯だけを勧めて苦手意識を持つより、エネルギーの源であるご飯が美味しく食べられる方法を見つけることが大切だと思います。

今回のアンケートへの非常にたくさんの回答をありがとうございました。給食室からのワンポイントも合わせてご覧いただけましたか？皆さんからのご回答を参考に、今後の献立や食への興味関心に繋げていきたいと思っています。

